

(お知らせ)

27.11.18
防衛装備庁

プロジェクト管理重点対象装備品の選定について

防衛装備庁では、効果的かつ効率的な運用及び維持を可能とする最適な装備品の取得を実現するため、特にプロジェクト・マネージャー及び統合プロジェクト・チームを設置して重点的にプロジェクト管理を実施する装備品（プロジェクト管理重点対象装備品）を別紙のとおり選定しましたのでお知らせいたします。

今後、適切なプロジェクト管理の推進に努めてまいります。

選定されたプロジェクト管理重点対象装備品

1. SM-3ブロック2A
2. 中SAM(改)
3. グローバルホーク(滞空型無人機)
4. 水陸両用車
5. 新艦艇^{※1}
6. 陸自UH-X
7. オスプレイ(ティルト・ローター機)
8. SH-60K 能力向上型
9. P-1
10. C-2
11. F-35A
12. 将来戦闘機^{※2}

※1 新艦艇：多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立させた新たな護衛艦

※2 将来戦闘機：F-2戦闘機の後継(検討中)

選定されたプロジェクト管理重点対象装備品



SM-3ブロック2A
(第1次地上発射試験)



中SAM(改)
(発射試験)



グローバルホーク(滞空型無人機)
(写真は同型機種)



水陸両用車



新艦艇※1
(イメージ)



陸自UH-X
(イメージ)



オスプレイ(ティルト・ローター機)
(写真は同型機種)



SH-60K能力向上型
(写真はSH-60K)



P-1



C-2



F-35A
(写真は同型機種)



将来戦闘機※2
(図は検討の一例)

※1 新艦艇：多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立させた新たな護衛艦
※2 将来戦闘機：F-2戦闘機の後継(検討中)